

特別養護老人ホーム 湯梨浜はごろも苑

1 基本方針

入居者の意思及び人格を尊重し、常に入居者の立場に立って良質の介護福祉サービスを提案し、個別ケアを実践する。

良質の介護・福祉サービスを提供することにより入居者がその有する能力に応じ、安心で安全な自律した日常生活を営むことができるよう努める。

地域住民との交流を深め、地域に必要とされ、愛され信頼される施設づくりに努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 経営基盤の確立

ア 介護職員の人員不足解消及び質の高い介護を実施できるよう努める。

イ 空床から入所までの期間を短縮し、関係事業所と連携し待機者確保に努めると共にスムーズな入所へ繋げる。また、空所利用型短期入所も継続し施設入所に繋げる。

ウ 業務の効率化及び電気代等の経費削減に努め、適切な予算管理を行う。

エ 生産性向上委員会を設置し、介護負担の軽減を図るため適切な福祉機器の運用を進める。

(2) 個別ケアの充実

ア 一人ひとりの意向を尊重し、自律に向けて「～をしたい」を実現する。

イ 「真心」「思いやり」「進取」の心を持った介護・接遇に努め、「その人らしく生きる」ということを全力で支えられるようケアの充実を図る。

ウ ボランティア等の協力のもと、一年を通し季節に応じた行事や食事を取り入れ四季の移ろいを実感し、利用者一人ひとりの楽しみや生きがいを体現できるよう取り組む。

(3) 重度化に対応するサービスの質の向上

ア 個々の尊厳を尊重し些細なことにも目を向け、「不適切ケアの廃止」「身体拘束ゼロ」「虐待ゼロ」に取り組む。

イ 日常生活を継続するために必要なリハビリ活動を実施し、日々の体調管理と観察、情報共有に努め、異常の早期発見・早期治療に取り組む。

ウ 終末期にはその人らしい最期を迎えられるよう多職種で連携し利用者、家族の意向に寄り添った看取りを行う。

エ 口腔内の清潔を保つと共に摂食嚥下の理解を深め、誤嚥性肺炎のリスク軽減に努める。

オ 多職種連携のもと家族へ情報提供を緊密に行い、風通しの良い雰囲気づくりと信頼関係の構築に努める。

カ 福祉サービス第三者評価の受審し、サービスの質の向上を目指す。

キ L I F E（科学的介護情報システム）を活用し、根拠に基づいたケアを実践しより良いサービスにつなげると共に重度化の防止に努める。

ク 介護技能実習生の受け入れに伴い、利用者の支援や信頼関係が構築できるよう育成に取り組む。

(4) 安全管理の推進

ア 利用者の安全、安心、快適な生活が送れるようリスクへの意識向上に努め、同事故、類似事故の再発防止のため、事故報告を多職種の視点から要因分析し改善に取り組む。

イ 清潔な環境を整えるとともに、標準予防策の徹底により感染症の拡大防止に努める。また不測の際はサービスが継続できるようBCP（事業継続計画）に則り早期終息に取り組む。

(5) 地域における公益的な取り組みの推進

ア 福祉の相談拠点として地域に寄与し、地域の研修や会議等へ積極的に専門職を派遣する。

イ 災害時等の地域住民の避難場所として「はごろもホール」を提供すると共に、地域連携のもと防災へ取り組む。

ウ 近隣住民はもとより、利用者が家族と共に有意義な時間が過ごせるよう「カフェはごろも」をコミュニティ拠点として開放する。